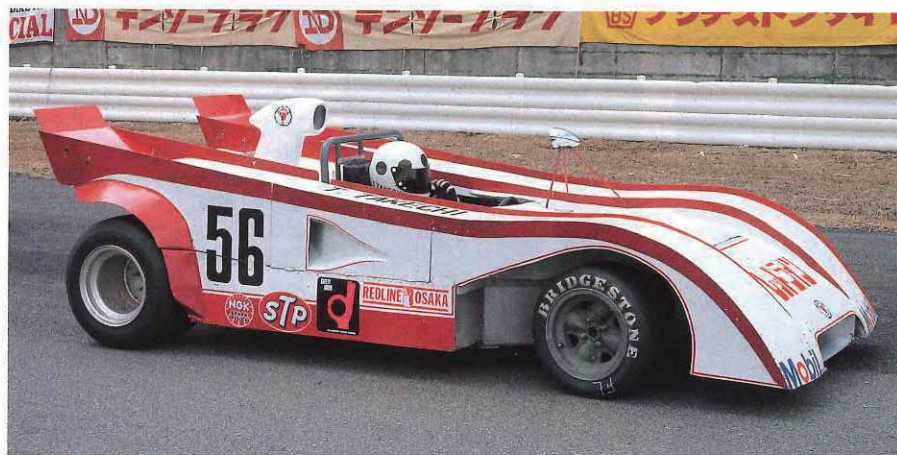


コントロールタワー下でのドライバーズミーティング
右から高橋晴邦、浅岡重輝、生沢徹、木倉義文、田中弘、鮎子田寛
全員が当時流行したロングヘア
レーシングスーツのファッションにも70年代がよく出ている





56 武智 俊憲
レッドラインSPL-MKⅢ

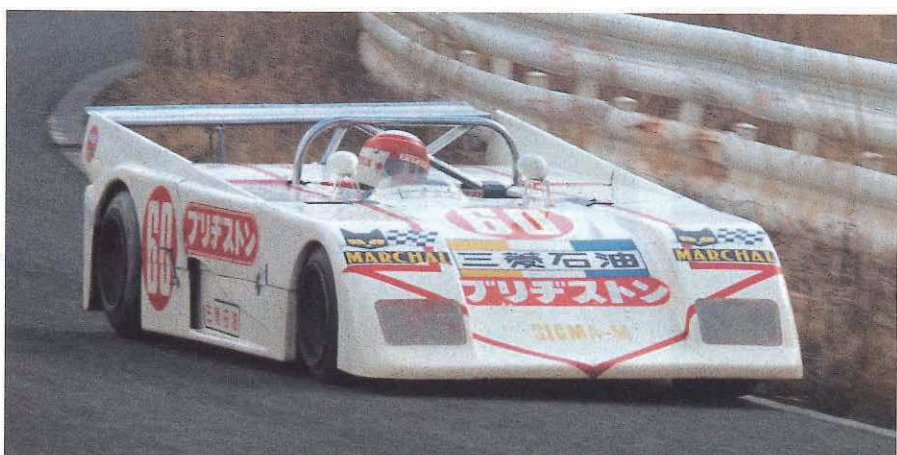


Toshinori TAKECHI

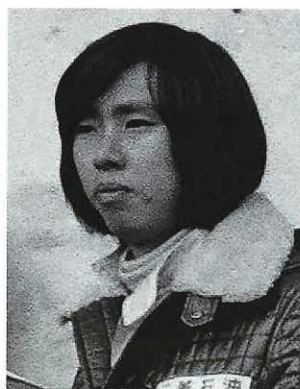
26歳 (1946年7月22日/愛媛出身)

Before : 66年7月・第5回クラブマン鈴鹿でデビュー。ホンダS800で活躍後、69~70年はマツダ・ワークスとしてヨーロッパのツーリングカー・レースで活躍。72年末までマツダ・ワークス
After : 75年までスポット参戦。現在、アルミホイール製造会社「タケチプロジェクト」経営

エンタラント：チームレッドライン大阪・村田 シャシー：レッドラインMk.Ⅲ
エンジン：マツダ12A 573cc×2ローター×係数2 サイドポート
燃料供給装置：ウェーバー 点火装置：—— プラグ：NGK
ギヤボックス：ヒューランドFT200 ダンパー：アームストロング
タイヤ：ブリヂストン 前=—— 後=——
ホイール：ブラバム 前=11×13 後=14×13 車重：572kg (50ℓ)



60 高橋 晴邦
ブリヂストンシグマM

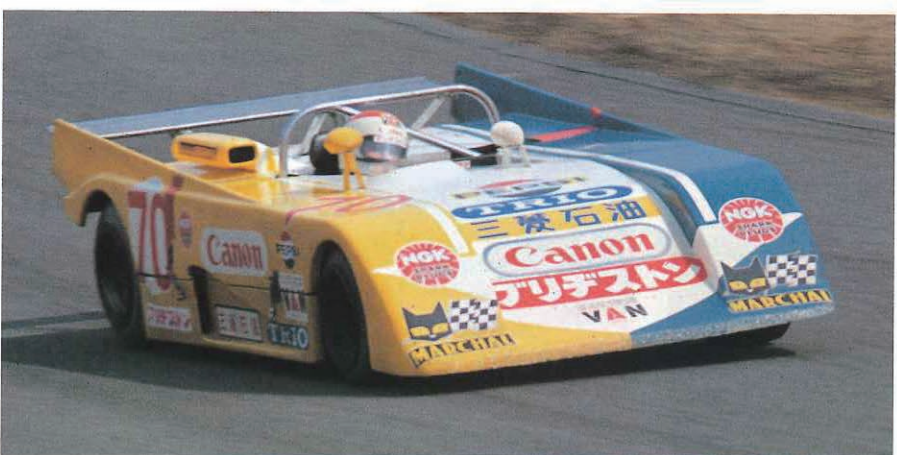


Harukuni TAKAHASHI

26歳 (1946年12月26日/東京出身)

Before : 66年4月・第2回ゴールデンビーチトロフィーでデビュー。トヨタ系若手として活躍。68年全日本T1チャンピオン
After : 73/74年富士1000km優勝。74~75年ル・マン24時間参戦。現在、広告代理店「ポクー」、カーマット「カロ」代表

エンタラント：シグマオートモティブ シャシー：シグマMC73
エンジン：トヨタ2T-G 直列4気筒1588cc DOHC
燃料供給装置：ミクニ 点火装置：ルーカス プラグ：NGK
ギヤボックス：ヒューランドFG400 ダンパー：ビルシュタイン
タイヤ：ブリヂストン 前=8.0/20.0-13 後=13.5/24.0-13
ホイール：神戸製鋼 前=10×13 後=14×13 車重：563kg (50ℓ)



70 生沢 徹
ブリヂストンシグマG



Tetsu IKUZAWA

30歳 (1942年8月21日/東京出身)

Before : 2輪ライダーを経て、63年5月・第1回日本GPで4輪デビュー。64年5月・第2回日本GP、スカイライン1500で優勝。67年5月・第4回日本GP優勝。66年夏に渡英し、73年までヨーロッパを中心に活動。70年ホッケンハイムF2で2位
After : 77年富士GCチャンピオン。78年引退後は自チーム「i&iレーシング」を興して全日本F2に参戦

エンタラント：シグマオートモティブ シャシー：シグマGC73
エンジン：フォードBDA (ハート) 直列4気筒1974cc
燃料供給装置：ルーカス 点火装置：ルーカス プラグ：NGK
ギヤボックス：ヒューランドFG400 ダンパー：ビルシュタイン
タイヤ：ブリヂストン 前=9.4/20.0-13 後=13.5/23.0-13
ホイール：神戸製鋼 前=10×13 後=14×13 車重：552kg (20ℓ)